

平成20年度第4回中仙地域協議会 会議録

1 開会の日時及び場所

- ・日時 平成20年10月15日(水) 午後2時～午後3時54分
- ・場所 大仙市中仙庁舎 第21会議室

2 出席した委員等の氏名

- ・出席委員 木元洋子委員 古村貞夫委員 佐藤昭男委員 佐藤育男委員
高橋國文委員 高橋尊雄委員 傳農富士夫委員 長谷山祥子委員
藤田貞子委員
以上9名
(欠席 秋山 康委員 金子美喜男委員 熊谷秀夫委員 鈴木恭子委員
高橋 修委員 高貝昇太郎委員 高橋辰美委員 高橋亮光委員
平瀬一浩委員)
- ・市職員 中仙総合支所長 鈴木雅幸 地域振興課長 田口義則
建設課長 傳農順一 地域振興課主幹 田口祥吾
建設課副主幹 福田義治 建設課主席主査 佐藤吉一
以上6名
- ・オブザーバー(説明補助)
国際航業株式会社 増戸保明 国際航業株式会社 高村浩之
以上2名

3 次第

【開会】

会長が開会を宣言

【会議の成立】

事務局から出席委員9名、欠席委員9名で2分の1以上の出席があり、協議会が成立することを報告。

【会長あいさつ】

- ・今日は皆さんお忙しいところ、協議会に出席いただきましてありがとうございます。今日の議題につきましては、まちづくり交付金事業事後評価ということで、2回目となりますが、今日はスクリーンも用意してあるようですので、これを見ながら皆さんからご意見を出していただきたいと思います。直接は関係ありませんが、昨日都市計画マスタープランの会議がございまして、現地の視察を行いました。大曲ジャスコなどの国道13号線沿いの商店ゾーン、太田総合庁舎周辺の団地化されている施設、中仙ではジャスコと当支所を見まして、神岡に予定されている工業団地の原野、嶽の湯

を中心とした分譲住宅地と公園というようなコースで回りました。ただ国道13号線の商業ゾーンですが、空き店舗などもあり、片方では開発され片方では壊されるような状況で複雑な感じでした。この後20年の都市計画ですが、この後会議を重ねて大仙市の都市計画マスタープランを作る訳ですが、全く予算は付けておりませんし、人口の減少もあり、これが本当に出来るのかと危惧する声もございますが、いずれその委員のメンバーになっておりますので進めてまいりたいと思います。この後も皆さんにご報告する機会があると思いますので、皆さんの意見を聞きながらこれを進めていきたいと思っております。以上よろしくお願ひしまして挨拶とします。

【議事】

(1) 会議録署名委員の指名

会長が古村貞夫委員、高橋尊雄委員の2名を指名。異議なしと認め了承する。

(2) まちづくり交付金事業事後評価について

- ・ 傳農会長…それでは(2)まちづくり交付金事業事後評価について議題とします。説明をお願いします。
- ・ 建設課主席主査…この議題は、皆さんからまちづくり交付金事業事後評価について、ご意見を伺いたいということです。まずその中身についてご説明したいと思います。私は建設課の佐藤と申します。建設課からは課長、副主幹の福田が出席しております。オブザーバーとしてコンサルタツの国際航業株式会社から2名出席させていただいております。皆様のお手元に3枚の資料をお渡ししてございますが、「2-1評価のまとめ」、「2-2地区の概要」は事後評価の公表の時に使用するものです。もう1枚は「まちづくり交付金事業による事業」ということで、路線名等を入れたまちづくり交付金事業の内容を記載したものです。それではスクリーンを用意しておりますので、こちらとお手元の資料でご説明させていただきます。次第の①、まちづくり交付金事業ですが、旧中仙町で平成16年から平成20年にかけて、ほとんど駅の周辺ですが旧街道周辺地区の都市再生整備計画を立ててこれを実施しております。この事業は国土交通省が所管する事業で、都市の賑わいの再生を目指して行政と地域が一体となった取り組みに国がハード、ソフトの両面に支援するというものです。都市再生整備計画には目標があり、出来上がったときにその目標が達成されているかどうかという評価があります。それが次の②都市再生整備計画の目標と指標ということになります。大きい目標が旧街道の町並み保全と整備開発による観光振興、その他の小さい目標が3つありますが、これの達成を目指し事業を進めております。これを達成したとする指標を定めております。その一つが旧街道の二日町から駅前までの交通量で、これを減らし観光客が安全に歩けるようにしたいとするものです。これは資料にあるとおり旧街道のバイパスとなる二日町石持線を通し、こちらに車を回し旧街道の交通量を減らすもので、平成14年の測定値が1058台でしたが事業終了の平成20年目標を845台としております。次に指標2の観光客入込数ですが、平成14年実績19万人を事業終了の平成20年は23万人の目標でした。指標3の駅利用客数ですが平成14年の実績が1万4千人で、事業終了の平成20年目標を1万5千5百人としております。これらの目標は計画当初のものでございます。何でもそうですが事業をや

ってただ終わるだけじゃなく、終わった後この事業はどうだったのかという評価の場を設けることになっております。9月26日の会議でも説明があったと思いますが、事業が終わる今年度事後評価を作ることになっております。流れとしましては、最初にどのように評価するのかという方法書を作り、これに基づき評価を行います。この中で、今後のまちづくりの方策ということがあり、今回皆様にご意見をいただきたいというものです。この後事後評価の原案を作り、ホームページに載せ、評価委員会にかけた後国に提出するという流れでございます。次に③事業の進捗状況についてご説明します。(スクリーンに資料「まちづくり交付金事業による事業」を映す。)平成17年度に事業の見直しを行い、×印があるのが中止となっております。また、最終年度でございますが、事業進行中のところもございます。二日町石持線は現在進行中で、平成16年度からかかっておりますが10月31日までで完成予定です。駅前3号線は途中まで出来ており、現在県道側が着工予定となっております。二日町石持線と繋がることにより利便性の高い道路となると思います。石持館ノ郷線ですが、今年度完成予定で国道と繋がることとなります。新山5号線は当初分譲住宅地を通り、支所に来る予定でしたが、地域の要望もあり保育所のところまでとなっております。ここは小滝川の橋の架け替えもあり、工期が長くなる予定です。なお、これが完成しますと歩道も設置され通学路としての安全性が高まります。漆藁2号線は平成18年度に完成しております。短くなったものもありますが、5本の実施となっております。斉内川河川敷の整備ですが、これは平成16年に行っております。駅前広場は農協用地の取得が出来なくなり、駅舎の前だけの整備となります。駅舎はパースのような形のものになります。工事はJRの発注で現在進行中です。駅前広場もこの工事の進捗を見ながらの発注を考えております。二日町公園の黒板塀と門、川湊の案内板、まちづくり支援センターは、平成17年の事業見直しで中止となっております。④指標の達成見込み及び追加指標でございますが、計画で立てた指標はクリアしなければならないことですが、難しいものも出てきております。二日町方面からの交通量ですが、調査の結果966台でした。二日町石持線の完成を考えますと見込み台数として800台という数字になり、達成できる見通しです。観光客入込数は毎年減少しており、達成できる見込みは無いような状況です。駅の利用者数ですが現在の推計から行くと半分ぐらいに落ちるようです。この数値は羽後長野駅で切符を売ったものからの推計のようで、実際の人数とは違っているようです。平成14年度のJR資料では一日の平均乗車人員が144人で、現在の調査では100人ぐらいであり、3分の1ぐらいの減となっているため、これも達成できない状況にあります。その他の数値指標として、羽後長野駅周辺整備満足度という指標を設定しました。これは現在の駅舎について満足度調査を行っており、駅舎の改築、駅前広場の整備後もう一度満足度調査を行い、これを比較するというものです。現在の満足度は約20%という調査結果がでておりますが、出来上がったとき、50%以上の満足度が出た場合この事業の成果があったとし、指標達成とするものです。現在の予想では77%という数値が得られると予想しております。⑤今後のまちづくりの検討ですが、今までご説明したように事業を実施しておりますが、この事業の良かった点、悪かった点、今後どうしたらいいか皆さんからご意見を伺いたいと思います。都市計画マスタープランの関係もあり、今後中

仙地域がどうなるのかとの問題も出てくるので、それにも役立てたいと思っておりますのでどうかよろしくお願いします。

- ・ 傳農会長…説明が終わりましたので、質問ご意見を賜ります。(声無し) それでは私からお尋ねします。駅利用客数ですが、従前値が年 14,000 人、J R 発表で一日 144 人というのはどういうことですか。144 人では年 50,000 人ぐらいになりませんか。
- ・ 建設課主席主査…従前値は、羽後長野駅で売ったキップから推計しており、他の駅で買った人はカウントされていないようです。J R 発表では平成 14 年の一日平均乗客が 144 人で、年間となればご質問通り 50,000 人ぐらいになると思います。平成 19 年では 89 人となっており、いずれも減少している状況です。
- ・ 傳農会長…目標を達成できなくても協議会で認めればそれでいいということですか。
- ・ 建設課主席主査…達成できなくても、他の指標を探すとか他で達成するように進めております。3 つを達成しなくても、なぜ達成できなかったか理由を付けて提出し、今後ソフト面でカバーするようなフォローアップ対策を講じることになります。
- ・ 長谷山祥子委員…この事業でやった斉内川河川敷の整備は大変良かったと思います。道の駅に来た人達にも好評で、車の数も増えているような感じがし、このことから効果があったと思います。また、道の駅の直売所にいると秀よし、温泉、国宝、豆腐屋などの道を聞かれますが、説明し難い場所のため、もっと案内板があればいいと思います。
- ・ 傳農会長…二日町石持線はほとんど通っていないようだが、どうですか。
- ・ 建設課主席主査…10 月 31 日に完成すれば、便利のいい道路なので多くなると思います。
- ・ 傳農会長…観光客、駅利用客について指標を達成できないということで、これをフォローアップするということですが、どうするんですか。
- ・ オブザーバー(増戸)…二日町石持線と駅舎について、まだ事業が終わっていないので、交通量や駅利用者を、現在は推計値で出しています。このため、これが出来た段階で調査を行い確定値を出すことが求められております。この時期を 1 年後にするとか決めることが必要で、この期間は 3 年以内と設けられております。
- ・ 藤田貞子委員…駅を観光の核として考えるとどうなりますか。また、駅から二日町までの間に観光となるものが無く、魅力がないように感じられ、観光客が行くか心配です。見せ場が無いので対策を考えた方がよいと思います。
- ・ 木元洋子委員…イベントも 1 日だけのものでなく、ジャンボウさぎだったら、いつでも触られるとか、ドンパン踊りを習うことが出来るとか考えなければならないと思います。
- ・ 高橋國文委員…ジャンボウさぎについては、いつでも触られるとか、肉が買えるとかした方がよいとの声はあります。また刺巻の水芭蕉は、刺巻駅で降りて見に来る人も多く、観光するものがあればどこでも見に来ると思うので、羽後長野駅から黒板塀を見て歩くような方策を考えた方がよいと思います。
- ・ 建設課主席主査…様々なご意見ありがとうございました。このことを今後のまちづくりに活かしていきたいと思っております。
- ・ 傳農会長…他にございませんか。(声無し) 無いようですので(2) まちづくり交付

金事業事後評価についての審議を終わります。次に次第の（3）その他に入りますが何かございますか。（声無し）無いようなので、これをもちまして本日の議題の審議を終了します。

【閉会】

会長が閉会を宣言

署名

中仙地域協議会運営規程第7条第2項の規程により会議の次第を記載しこれに相違ないことを証明するためここに署名する。

平成20年10月15日

会議録署名委員

議長

委員

委員